

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人誠心会	代表者	前原 くるみ	法人・事業所の特徴	本人の思いを大切にし、住み慣れた自宅でご家族様や地域との交流を大切にし、園外活動や地域行事に参加し、地域の方々との関係性が途切れないようにしていきます。
事業所名	小規模多機能ホーム やぼのさと	管理者	木場 公輝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人		3人	人	1人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 今回の自己評価にて気づいた反省点や改善点をしっかりと職員間で話し合い共有して、順次改善していけるよう取り組んでいきたい。また今後も行政や地域の方々の意見も頂きながら、より良い施設運営に努めていけるよう努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議や日々の業務の中で頂いた意見をミーティングや申し送りを活かして、情報共有を行い、順次改善点を話し合うことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価で意見を伺いましたが、特に意見なし。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回自己評価をして気づいた改善が必要な点を職員間で話し合い、改善していく。また日頃の業務の中で、改善が必要な点を意識して、改善できるように職員間で声掛けや情報の共有に努めていきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の為、事業所内の雰囲気や環境を地域の方が見る機会が減ってしまったが、送迎時や訪問時に地域の方やご家族様と接する機会があった場合は丁寧に対応を行う。また、地域の方々が立ち寄りやすい、環境作りを常に職員で取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で事業所の雰囲気や環境を直接見る機会は減ってしまったが、運営推進会議等を通して、行事の報告や写真などを見て頂き、事業所での生活ぶりや環境を理解して頂けたと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価で意見を伺いましたが、特に意見なし。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の環境づくりは継続してより良いものになるように職員間で取り組んでいきたい。利用者様やご家族が、くつろげ安心して利用が楽しめる環境作りを常に目指し、引き続き地域の方の意見も頂きながら環境づくりに取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の送迎や訪問時で知りえた地域の方やご家族様の相談事や情報は、職員全員で共有することを心掛けて対応していく。また、ご家族や地域の方とも積極的に会話や挨拶をするようにし、地域とのかかわりを大切にするようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や訪問時で知りえたご家族や利用者様の相談事や情報は、多職種間で話し合い、直ぐに対応することが出来た。コロナ禍で地域の方との交流は減ってしまったが、地域の方が企画して頂いた演奏会に参加することができ、地域交流が行え、大変良かった。今後も積極的に交流が出来る方策を探し、実施していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や連絡ノートを通して、事業所での生活を説明して下さり、安心しています。母が利用していますが、施設内での写真を見ると笑顔で写っていて、職員の皆様に感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で地域の方との交流が減ってしまっている現状だが、今後は少しずつ感染対策を行いながら地域の方との交流を大切にしていきたい。現在行えている、地域の方との交流も継続していけるように事業所全体で取り組んでいきたい。

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も利用者様が過ごしやすい環境整備に努め、施設内でも季節を感じられる施設計画を考えていきたい。今後も感染症防止に努めて、少しでも利用者様や職員が地域の行事や地域の方と交流が行えるよう努力していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとに施設内の掲示物作成に取り組み、利用者様と作成することで、コロナ禍でも季節感を感じて頂けたと思います。運営推進会議でも写真を見て頂いて、随時報告を行い、事業所の取り組みを理解して頂けたと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏会に参加して下さったり、地域の奉仕作業に職員の方が参加して下さったりと、地域と事業所の関わりは大変よく出来ていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行えている地域の方との交流を、感染対策に取り組みながら、利用者様と一緒に地域の行事に参加して、地域の方々に事業所を知ってもらえるようより努力したい。
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中で、相談事や気がかりな事等ないか、確認して直ぐに対応していくよう心掛けていく。施設の取り組みや行事なども随時報告し、アドバイスを頂きながら地域に頼られる施設を目指していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で頂いた意見やアドバイスは直ぐに職員間で情報共有を行い、改善できたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価で意見を伺いましたが、特に意見なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で得た、意見やアドバイスは限られた職員だけではなく、多職種連携で取り組み、改善を行っていきたい。運営推進会議での意見を、事業所で改善が出来るか、進捗状況を説明し、地域の方々と一緒に確認を行い、より良い施設運営に努めたい。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も避難訓練や災害対策を行って、職員全員でより一層に防災意識を高めて、地域の方々と協働して災害、防災対策に取り組んでいきたい。災害時の必要時は、地域へのご協力もできる事を伝えるように、適切な行動、助言ができるように、的確な知識や情報を常に得るように努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップを活用して、事業所で必要な土砂災害の避難訓練を取り入れることが出来た。コロナ禍のため、事業所と地域の方との防災訓練が行えていない。今後は感染状況をみながら対策をしたうえで、地域の方との防災訓練が行っていききたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価で意見を伺いましたが、特に意見なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ、どこで災害が起こるか分からないため、常に念頭に置き、災害対策を怠らないように努めていきたい。また、ハザードマップを確認して、事業所に必要な避難訓練を計画、実施していきたい。地域の方に災害時にも頼って頂けるように正しい災害時の知識を身につけるようにしていきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022/12/23 (金)

9. 人権・プライバシー

メンバー 木場・西元・永濱・宮内・酒井・坂元・笹森・鎌田・清藤・鈴木・湯原・落合・中村・酒匂・吉富・福島・高澤・鶴ヶ野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	8人	10人			18人

前回の改善計画
・今後も、委員会や研修を通して、身体拘束や高齢者虐待への意識や知識向上に努めて利用者様が安心して利用できる施設運営に努めていきたい。また、スピーチロックにも意識し、声をかけ合いながら職員全員でより良いケアに繋げていきたい。また、利用者様に寄り添ってケアが行えるように業務の改善点等があった場合は直ぐに話し合い、業務優先にならないように心掛けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・研修や毎月の委員会の報告を通して、身体拘束や高齢者虐待防止の知識向上に努めることが出来た。 ・毎日の業務での改善点があった場合は、その日のリーダーを中心に話し合っ、多職種連携での対応が行えた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	17人	1人			18人
② 虐待は行われていない	16人	2人			18人
③ プライバシーが守られている	11人	7人			18人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	11人	5人	2人		18人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	11人	7人			18人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束や虐待への理解は全職員が理解しており、言葉で、利用者様の言動や行動を制止しないよう、スタッフで声をかけ合い、安心安全にサービスを利用出来るよう努めている。 ・入浴や排泄ケアの際は、自尊心や羞恥心を傷つけないようプライバシーの保護に努める事が出来ている。 ・研修に参加し、人権、プライバシーへの理解を深め、ノーマライゼーションの考えに添ったケアを行っている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・成年後見人制度を利用されているご利用者様もおり、言葉や大まかな意味は知っているが、知識としては浅い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・今後も研修や毎月の委員会の報告を活用して、職員の身体拘束や高齢者虐待への知識向上に励み、より良い施設運営に繋げていく。 ・成年後見制度について、理解が浅い職員にはミーティング等で勉強会を行う。